排水機場除塵設備の更新による湛水被害等の未然防止

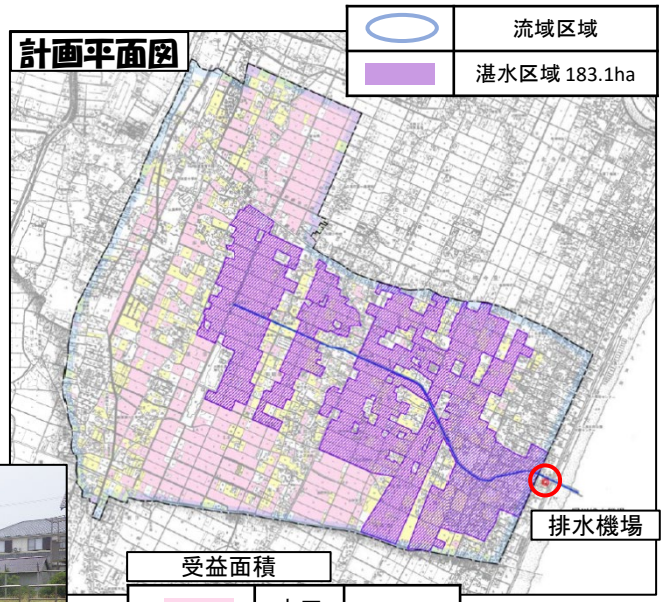
5か年加速化対策
災害時の効果発揮事例

国土強靱化
NATIONAL RESILIENCE

概　　要：老朽化した排水機場除塵設備を更新し、施設の長寿命化及びライフサイクルコストの低減を図ったことにより、令和8年台風第7号、第8号では農地の湛水被害及び道路の冠水被害を未然に防止した。
対 策 名：91 農業水利施設等の老朽化、豪雨・地震対策＜5か年加速化対策＞【農林水産省】

- 実施主体：千葉県
- 実施場所：千葉県大網白里（おおあみしらさと）市
- 事業概要：昭和59年～昭和61年度に整備された排水機場の除塵設備について、老朽化に起因する故障により大雨時に湛水被害等が生じる恐れがあったため、更新工事を実施した。
- 事業費：約3.1億円
  （うち5か年加速化対策（加速化深化分）2.5億円）
- 災害の外力、被害と効果：令和8年台風第7号、第8号では、近接する茂原観測所にて1時間降水量42.5mmを記録したが、事前に整備した排水機場除塵設備により排水機能が確保され、受益面積463.3haの湛水被害及び道路の冠水被害を未然に防止することができた。なお、近年の突発的な大雨においても、排水機場の稼働時に一斉に流入するごみや異物が安定的に取り除かれることで排水機能が確保され、周辺地域の農業経営の安定が見込まれる。

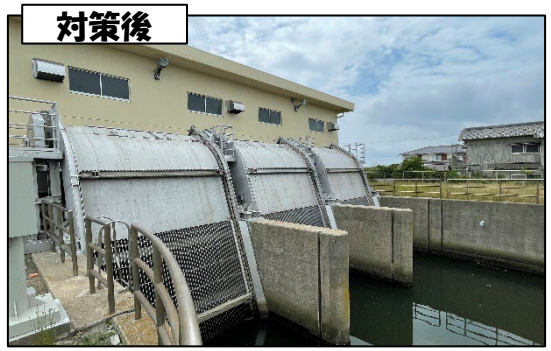




受益面積		
	水田	291.9ha
	畑	171.4ha
合計		463.3ha







【排水機場除塵設備】
排水ポンプ流入部に設置したスクリーンの前面に堆積した塵芥（ごみ）を機械的に掻き上げ除去する装置。